

第2回 黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会 開催概要

開催概要

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、黒部川において氾濫が発生することを前提として、**地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的**として、平成28年8月31日に「第2回黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催し、「水防災意識社会 再構築ビジョンに基づく『黒部川流域の減災に係る取組方針』」を取りまとめました。

日時・出席者・議事等

- 日時 | 平成28年8月31日(水) 9:30~11:00
- 会場 | 黒部河川事務所 2階 大会議室
- 出席者 | (構成機関)黒部市、入善町、朝日町、新川地域消防組合、富山県新川土木センター入善土木事務所、富山県新川農林振興センター、富山県土木部河川課、富山地方気象台、黒部河川事務所(オブザーバー)関西電力(株)北陸支社黒部川電力所、北陸電力(株)魚津支社電力部、あいの風とやま鉄道(株)
- 議事 | ・第1回協議会の開催概要について
・「黒部川流域の減災に係る取組方針(案)」について

H28~32までの取組の具体的な内容

ハード対策として

- ◇洪水を河川内で安全に流すため、氾濫が発生した場合でも被害を軽減する機能を有する霞堤の維持・保全、侵食・洗掘対策としての縦工の整備及び漏水対策、樹木伐採や河道整正などの適切な河道管理、洪水調節機能を有する宇奈月ダムの適切な施設管理
- ◇**危機管理型ハード対策**として堤防天端の保護、裏法尻の補強
- ◇**円滑な避難行動や水防活動等に資する基盤の整備**として、簡易水位計や夜間監視を考慮した高感度CCTVカメラの整備、水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備など

ソフト対策として

- ◇広域避難計画の策定とそれを反映した**ハザードマップの作成と周知**
- ◇リアルタイムの情報提供や市・町と連携した**タイムラインの検討及び作成**
- ◇**災害・避難カードの配布・普及・促進**による住民の主体的避難の為の防災意識向上
- ◇防災知識を高めるための小中学校への出前講座などの防災教育の実施
- ◇氾濫被害の軽減や避難時間の確保のためのより効果的な**水防活動の実施**など
- ◇**大規模工場と連携した情報連絡体制の確立**及び**自衛水防活動の取組**など
- ◇一刻も早く社会経済活動を回復させるための**排水計画(案)の検討・作成**及びそれに基づく**排水訓練の実施**

参加自治体首長等からの主な意見



◆黒部市長
避難勧告を出しても実際に避難する人が少ないのが現実で、確実に避難してもらうためには状況変化をタイムリーに細かく情報提供することが重要である。山よりも扇状地での強い雨によって、二級河川などによる浸水も想定しておく必要がある。



◆入善町長
想定最大規模の洪水に対しては、防災計画やハザードマップなど既に作成しているものを作り直す必要がある。情報共有を図りながら作成していくことが大切で、より良いものになるように、一緒に取り組んでいきたい。



◆朝日町長
想定最大規模での洪水による浸水想定区域を公表されているが、破堤箇所別による浸水想定シミュレーションの情報もあれば提供いただき、水防計画やハザードマップなどの作成に生かしたい。



◆入善土木事務所長
黒部川流域の安全・安心を高めるためには、まさにこれからの活動にかかっている。関係機関の皆様と連携しながら目標に向かって取り組んでいきたい。



◆富山県土木部河川課長(代理)主幹
黒瀬川・高橋川等の県が管理している二級河川については、平成32年度を目途に順次、浸水想定区域図の公表を目指して作業しているところであり、今後の防災計画に生かして頂きたい。